

2025年7月28日

あきる野市地域公共交通協議会

会長 殿

協議会委員（市民代表枠）

あきる野市公共交通の充実を求める会の「要望書」の補足説明

報告事項（2）「るのバス運行ルートの再編にかかわる意見交換の状況等について」の資料にあるように、「公共交通の充実を求める要望書」の第一次分として実数420筆の署名が提出されました。

「充実を求める会」は、20数年前から市民の足となる、現在の「るのバス」の運行を求めてきました。そして現在その充実を求め活動しています。

今回の要望署名は、るのバスのディーゼル車をEV車に切り替えることで、走行距離の短縮が必要になり、現在の運行ルートの一部が休止されることに対して、現行の運行範囲を基本的に継続してほしいという要望書名です。るのバスの代わりにデマンド交通「チョイソコ」が運用されても、定路線型のバスの運行と比べると利便性が異なります。短期間での署名に多くの方が賛同されていることから理解できます。

確かにCO₂削減は、今日的な課題です。しかし休止地区の利用者がデマンド交通「チョイソコ」を利用した場合必ずしもCO₂削減になるとは限りません。また「るのバス」は、デマンド交通「チョイソコ」と比べ利用者1人当たりの経費は、はるかに少なく、また運行できる道路が限られることから現行の運行路線を維持することは大切と考えます。

以上